

墮天使の姿

- 熾天使が墮天使になった際に押し付けられる姿
- 醜く、浅ましく、おぞましい姿である事が多い。
- 普段は制御装置によって制御されていて、隠れた状態にある。
- ほとんどの墮天使は伝承や文献に載っているものと同じ姿である

判明している墮天使の姿

- ルシフェル：3つの顔、6本の腕、14枚の銀の翼を有するが、普段の姿に近い。
- ヴェルゼヴァウ：体長2mを超える、巨大な蠅の姿。
- アスモデウス：牛と羊と人の頭に、ドラゴンの下半身、蝙蝠の翼を有する。
- メフィストフィレス：性別不明の肉体が絡み合い、身体を構成している。
- マモン：双頭の鳥頭に、甲冑を着込んだ人体、肥大化した鳥の翼を有する怪鳥。
- ベルフェゴール：掬れた角を生やし、牛の尾を持つ醜悪な魔物。